



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月2日

上場会社名 オカモト株式会社

上場取引所 東

コード番号 5122 URL <https://www.okamoto-inc.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 俊夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 高島 寛

TEL 03-3817-4121

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	22,678	0.9	2,263	21.6	2,544	26.9	1,834	30.7
2019年3月期第1四半期	22,467	6.2	2,886	2.1	3,478	13.1	2,646	24.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,141百万円 (59.7%) 2019年3月期第1四半期 2,831百万円 (3.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	96.60	
2019年3月期第1四半期	137.64	

当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	106,266	65,137	58.5
2019年3月期	108,262	66,095	58.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 62,176百万円 2019年3月期 63,203百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		10.00		75.00	
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		50.00		50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

1. 当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、2019年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「 」として記載しております。

2. 2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当50円00銭 記念配当 25円00銭(創立85周年記念配当)

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,500	0.6	3,700	23.5	4,000	29.8	2,700	34.7	141.81
通期	95,000	1.3	8,200	5.5	9,100	9.0	5,600	12.8	294.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	19,599,367 株	2019年3月期	20,399,367 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	696,960 株	2019年3月期	1,359,218 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	18,995,889 株	2019年3月期1Q	19,227,218 株

当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。株式数は、当該株式併合が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境については引き続き良好で、個人消費や企業の設備投資は依然として堅調に推移いたしました。一方で海外では、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速懸念など、引き続き長引く海外情勢の不安定化により先行きは不透明な状況となっております。

このような経営環境のなか、当社グループは、コスト低減及び販売力強化に引き続き注力して参りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は22,678百万円（前年同期比0.9%増）となりました。利益面では原材料価格の高止まり、設備更新による減価償却費の増加や物流コストの増加等により営業利益は2,263百万円（前年同期比21.6%減）、経常利益は2,544百万円（前年同期比26.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,834百万円（前年同期比30.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 産業用製品

一般用フィルムは、市況の低迷により、売上減となりました。工業用フィルムは、海外向けステッカー用や半導体関連の低迷により、売上減となりました。建材用フィルムは、鋼板用が堅調で、新規獲得した商権の寄与もありましたが、車輛加飾用が中国向け市況の低迷があり、売上減となりました。多層フィルムは、食品用・工業用フィルムの受注が堅調に推移し、売上増となりました。壁紙は、住宅着工件数は伸び悩んでおりますが、新規受注により、売上増となりました。農業用フィルムは、市場は低調なものの、消費増税前の駆け込み需要により、売上増となりました。自動車内装材は、北米市況の低迷や中国市場における現地メーカーとの競争激化による影響がありましたが、国内販売において新規受注の獲得により、売上前年並みとなりました。フレキシブルコンテナは、石油化学メーカー向けが好調で、売上増となりました。粘着テープは、包装用テープで新規受注の獲得もあり、売上増となりました。工業用テープは、電材用及び車輛用テープが低調で、売上減となりました。食品衛生用品は、業務用ラップは堅調に推移しましたが、業務用手袋の販売が低調で、全体として売上減となりました。食品用吸水・脱水シートであるピチット製品は、食品スーパー等での採用が増加したことや外食産業向けの販売が好調で、売上増となりました。研磨布紙等は、建材関連向けは売上前年同期並みに推移しましたが、精密加工用製品が前年度受注増の反動により、売上微減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は14,603百万円（前年同期比1.6%増）、セグメント利益は785百万円（前年同期比45.0%減）となりました。

② 生活用品

コンドームは、ゼロワンシリーズをはじめ薄物商品の需要は前年並みでありましたが、若年層をターゲットにした新商品が堅調に推移し、売上微増となり、また海外市場では引き続き好調で、売上増となりました。洗腸は、競合メーカーの新商品導入による影響で、売上減となりました。除湿剤は、九州北部から近畿地方での梅雨入り時期が遅く、また全国的に低温低湿の気候が続いた影響で、売上微減となりました。手袋は、家庭用手袋である「カシニーナ」シリーズの販売が好調に推移しましたが、その他の作業用途向けが大手販売店の取扱い縮小等の影響により、売上減となり、またクリーンルーム向け・理美容向けは、売上前年並みとなりました。メディカル製品のうち滅菌器は、歯科関連が好調で、売上増となりました。ブーツ及び雨衣は、九州北部から近畿地方での梅雨入り時期が遅く、降雨日も少なかったため、売上減となりました。シューズは、年明けから続く市場全体の需要の落ち込みにより、売上減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は8,004百万円（前年同期比0.2%減）、セグメント利益は1,893百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

③ その他

その他の事業は、物流受託事業及び太陽光発電事業であります。当セグメントの売上高（振替前）は953百万円（前年同期比0.3%減）、セグメント利益は81百万円（前年同期比30.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は106,266百万円で、前連結会計年度末と比べ1,995万円減少しております。

流動資産は65,054百万円で、前連結会計年度末と比べ1,468百万円の減少となりました。これは主として、商品及び製品が618百万円増加し、現金及び預金1,166百万円、受取手形及び売掛金396百万円、電子記録債権638百万円が減少したことによるものです。

固定資産は41,211百万円で、前連結会計年度末と比べ527百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産483百万円、無形固定資産171百万円が増加し、投資有価証券が1,242百万円減少したことによるものです。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における総負債は41,129百万円で、前連結会計年度末と比べ1,037百万円減少しております。

流動負債は30,863百万円で、前連結会計年度末と比べ1,136百万円の減少となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が994百万円減少したことによるものです。

固定負債は10,266百万円で、前連結会計年度末と比べ99百万円の増加となりました。これは主として、その他が127百万円増加したことによるものです。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は65,137百万円で、前連結会計年度末と比べ958百万円減少しております。これは主として、為替換算調整勘定が130百万円増加し、利益剰余金2,366百万円、自己株式2,164百万円、その他有価証券評価差額金が920百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、最近の決算短信(2019年5月9日発表)により開示を行った業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,070	21,903
受取手形及び売掛金	20,043	19,646
電子記録債権	7,814	7,176
商品及び製品	9,176	9,795
仕掛品	2,091	2,143
原材料及び貯蔵品	2,770	2,895
その他	1,596	1,529
貸倒引当金	△40	△36
流動資産合計	66,522	65,054
固定資産		
有形固定資産	22,601	23,084
無形固定資産	209	381
投資その他の資産		
投資有価証券	18,338	17,095
繰延税金資産	56	102
その他	558	572
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	18,928	17,745
固定資産合計	41,739	41,211
資産合計	108,262	106,266

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,012	21,018
短期借入金	2,718	2,608
未払法人税等	1,189	523
賞与引当金	1,016	583
その他	5,062	6,129
流動負債合計	31,999	30,863
固定負債		
長期借入金	1,014	1,008
繰延税金負債	1,435	1,385
退職給付に係る負債	6,858	6,887
その他	858	985
固定負債合計	10,166	10,266
負債合計	42,166	41,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	511	448
利益剰余金	47,306	44,939
自己株式	△4,950	△2,786
株主資本合計	55,915	55,649
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,533	6,613
繰延ヘッジ損益	6	△1
為替換算調整勘定	115	246
退職給付に係る調整累計額	△367	△330
その他の包括利益累計額合計	7,288	6,527
非支配株主持分	2,891	2,960
純資産合計	66,095	65,137
負債純資産合計	108,262	106,266

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	22,467	22,678
売上原価	16,006	16,838
売上総利益	6,460	5,840
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	895	921
その他の販売費	550	586
給料及び賞与	879	886
賞与引当金繰入額	178	178
退職給付費用	52	43
その他の一般管理費	1,017	960
販売費及び一般管理費合計	3,574	3,576
営業利益	2,886	2,263
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	249	261
不動産賃貸料	166	165
為替差益	205	-
持分法による投資利益	17	-
その他	18	16
営業外収益合計	661	449
営業外費用		
支払利息	6	7
不動産賃貸費用	43	32
為替差損	-	107
持分法による投資損失	-	2
その他	20	18
営業外費用合計	69	168
経常利益	3,478	2,544
特別利益		
関係会社株式売却益	49	-
その他	-	1
特別利益合計	49	1
特別損失		
固定資産除却損	3	0
その他	-	2
特別損失合計	3	2
税金等調整前四半期純利益	3,524	2,543
法人税、住民税及び事業税	826	414
法人税等調整額	27	275
法人税等合計	854	690
四半期純利益	2,669	1,852
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,646	1,834

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	2,669	1,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	458	△874
繰延ヘッジ損益	7	△8
為替換算調整勘定	△343	146
退職給付に係る調整額	31	36
持分法適用会社に対する持分相当額	6	△10
その他の包括利益合計	161	△710
四半期包括利益	2,831	1,141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,843	1,072
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	68

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2018年11月7日開催の取締役会決議及び2019年5月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式137,600株の取得を行っております。この結果、単元未満株式の買取による取得も含め、当第1四半期連結累計期間において自己株式が668百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2019年5月9日開催の取締役会決議に基づき、2019年5月28日付で、自己株式800,000株の消却を実施しております。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が0百万円、利益剰余金が2,832百万円、自己株式が2,833百万円それぞれ減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,377	8,022	22,399	67	22,467	—	22,467
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	105	126	888	1,015	△1,015	—
計	14,398	8,127	22,525	956	23,482	△1,015	22,467
セグメント利益	1,426	1,908	3,335	117	3,452	△565	2,886

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業及び太陽光発電事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△565百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△573百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,603	8,004	22,607	71	22,678	—	22,678
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22	97	120	882	1,002	△1,002	—
計	14,626	8,101	22,727	953	23,681	△1,002	22,678
セグメント利益	785	1,893	2,678	81	2,760	△496	2,263

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業及び太陽光発電事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△496百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△503百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。